

都市再生整備計画 事後評価 概要版

小美玉西部地区

都市再生整備計画の事後評価について

小美玉市では、平成 26 年度から令和 2 年度までの期間において都市再生整備計画『小美玉西部地区』を策定し、国から交付金を受けながら事業を進めてきました。

『小美玉西部地区』の事業については、本年度完了予定のため、事後評価を実施します。

事後評価は、事業前の段階で設定したまちづくりの目標について定量化した数値指標を設定し、事業完了段階における指標の達成状況や効果発現要因を確認するとともに、今後のまちづくりの方策等について検討します。

事後評価原案について、市民の皆様のご意見を募集いたします。

都市再生整備計画 小美玉西部地区 事後評価原案

まちづくりの目標

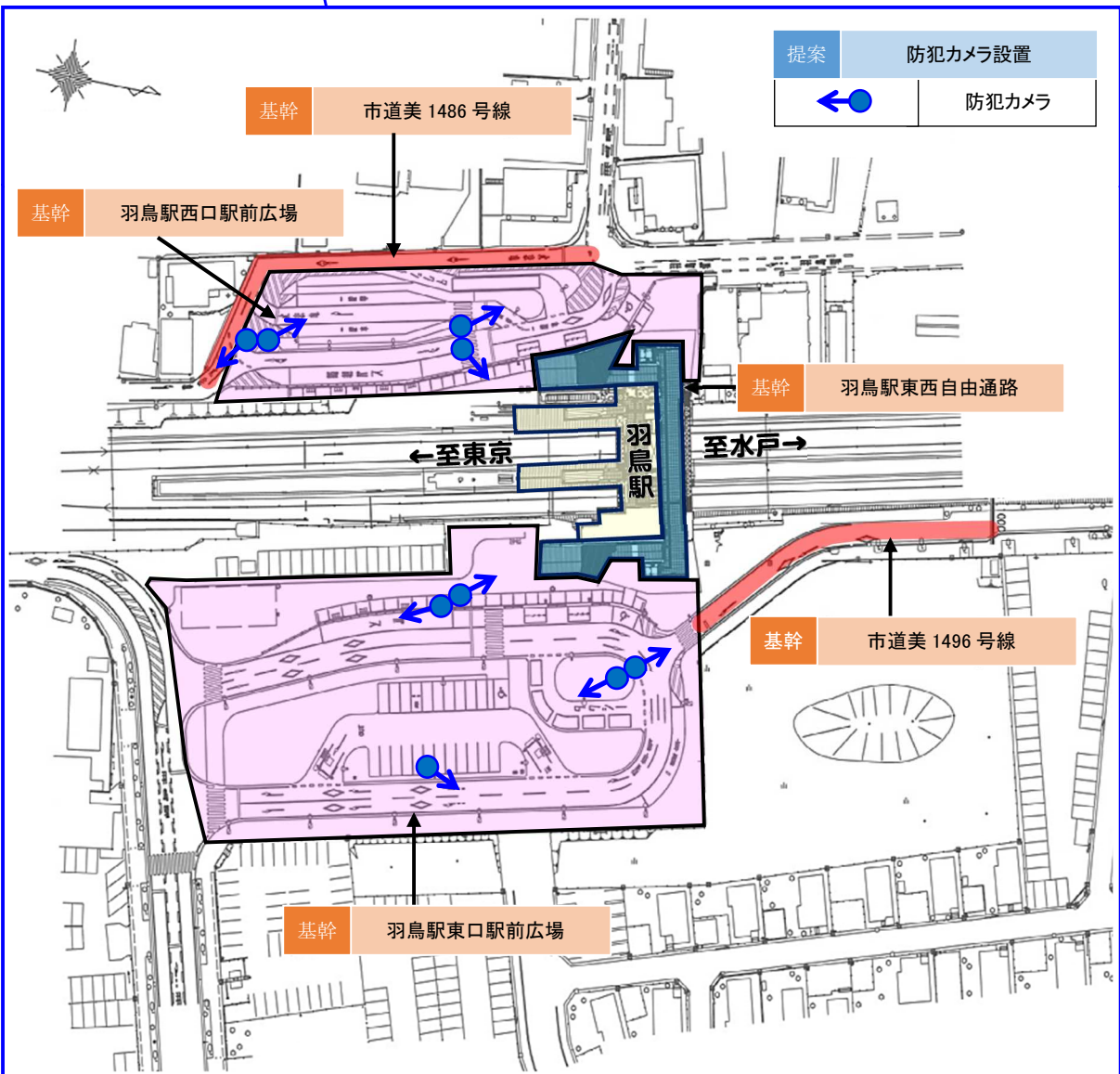
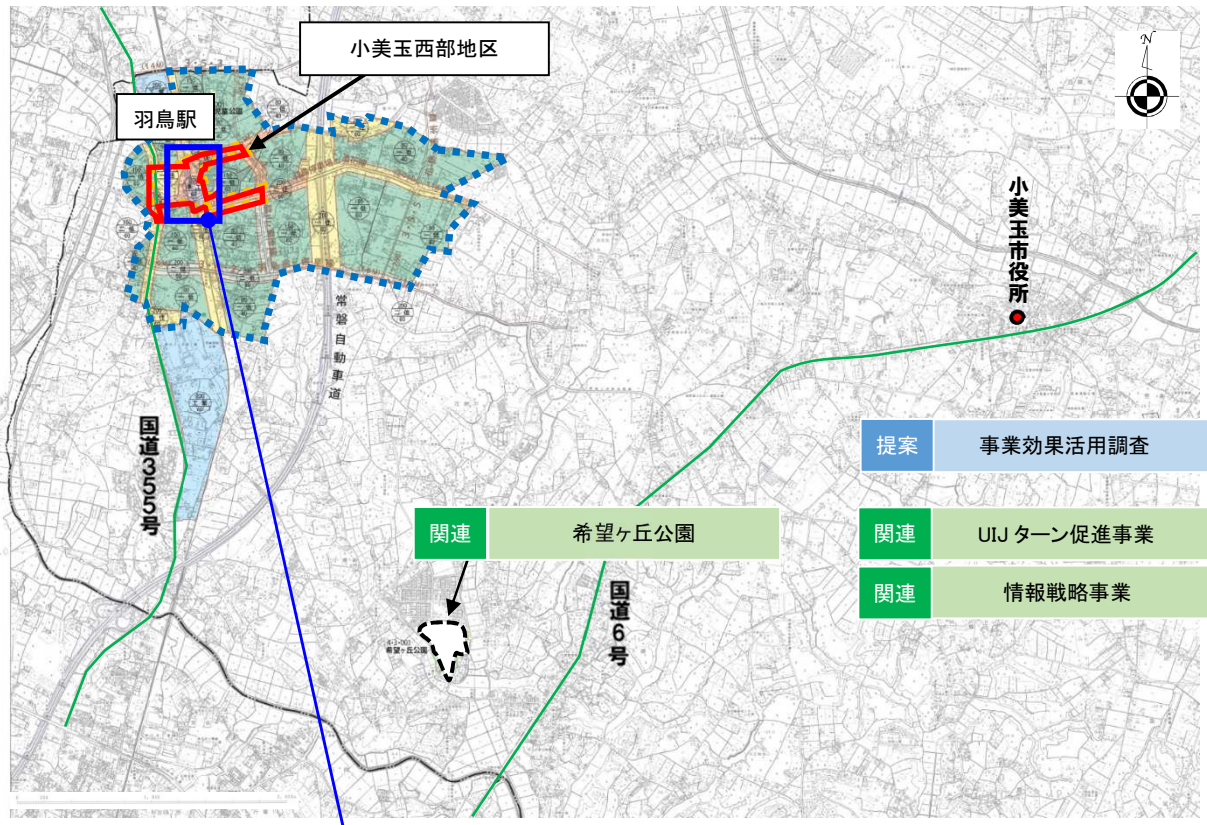
『小美玉西部地区』では、まちの課題等を踏まえ、まちづくりの目標を次のとおり設定しました。

現状と課題	小美玉西部地区は、交通結節点であるJR常磐線羽鳥駅や、常磐自動車道、国道 6 号、国道 355 号などの幹線道路が通っており、交通条件に恵まれた地域であるものの、交通結節点である羽鳥駅や主要な拠点施設を結ぶ道路ネットワークである市幹線道路、市民生活に欠かせない生活道路、公園・緑地など都市基盤施設は脆弱な状況にある。住民アンケートにおいても「活気や賑わいが少ない」、「防犯対策が不安」、「バスなどの交通機関が少ない」、「生活道路の幅が狭い」、「災害対策が不安」、「公園・広場が少ない」などの意見が寄せられている。
計画の目標	小美玉市の玄関口にふさわしい整備として、さまざまな人が集まる交流・交通拠点の整備や、地域の中心的な役割を果たす羽鳥市街地と周辺地域の交流を支える道路体系などの整備を行うと共に、生活道路の改善、公園・広場の整備、防災拠点施設の整備など、公共施設の整備や、教育環境の充実により、誰もが安心して暮らせる出会いのまちを目指す。

事業の実施

まちづくりの目標を実現するための施策として、次の事業を実施しました。

基幹事業	提案事業	関連事業
羽鳥駅東口駅前広場	防犯カメラ設置	希望ヶ丘公園整備事業
羽鳥駅西口駅前広場		UIJ ターン促進事業
市道美 1486 号線	事業効果活用調査	情報戦略事業
市道美 1496 号線		
羽鳥駅東西自由通路		



指標の設定と目標の達成状況

まちづくりの目標を定量化した数値指標を設定し、この指標の達成状況を評価します。本地区では、5つの指標を設定し、事業前（従前値）と最終年度（評価値）において達成状況を評価しました。

指標		従前値	目標値	評価値	達成度*	
指標 1	移動時間の短縮	4分 (240秒)	2分 (120秒)	1.7分 (100秒)	従前値○ 目標値○	○
指標 2	駅利用者の増加	4,598人	4,964人	4,632人	従前値○ 目標値×	△
指標 3	社会移動率の増加	-0.26%	-0.2%	-0.21%	従前値○ 目標値×	△
指標 4	市イベント関連交流人口の増加	81万人	103.8万人	82.5万人	従前値○ 目標値×	△
指標 5	住みやすさ指数の増加	49%	53%	58%	従前値○ 目標値○	○

※ ○：目標達成 △：未達成であるが従前値より改善 ×：未達成

指標 1：移動時間の短縮

指標 1 は、移動時間の目標値 約2分（約120秒）に対し、評価値の結果は約1.7分（約100秒）となり、目標を達成しました。これは従前値の約4分（約240秒）から約2.3分（約140秒）短縮したこととなります。また、新たに整備されたエレベーターを利用すると、移動時間がさらに短縮することとなります。

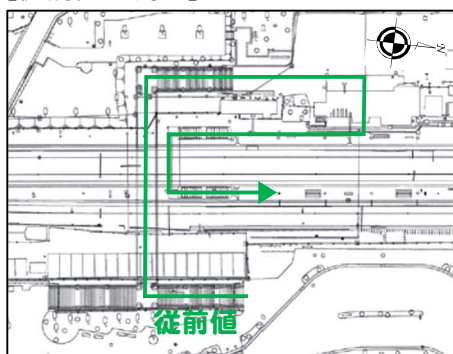
このことから、本地区の事業については、一定の効果が得られたものと評価しました。

【指標】

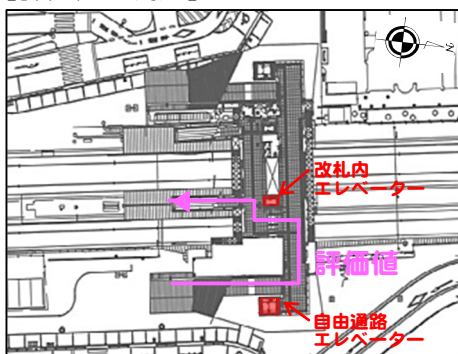
	従前値	目標値	評価値
移動時間	4分（240秒）	2分（120秒）	1.7分（100秒）

※目標値：当初の計画をもとに算出。

【従前値の測定】



【評価値の測定】



平面図から歩行距離等を図上計測し、羽鳥駅東口から上り線ホームまでの移動時間を算出しました！

小美玉市の
マスコットキャラクター
「おみたん」



歩行速度…水平移動：1.10m/s	階段上り：1.30段/s	階段下り：1.53段/s
→従前値…水平移動：132秒（145m）	階段上り：58秒（75段）	階段下り：50秒（75段）
→評価値…水平移動：27秒（30m）	階段上り：44秒（57段）	階段下り：29秒（44段）

指標 2 : 駅利用者の増加

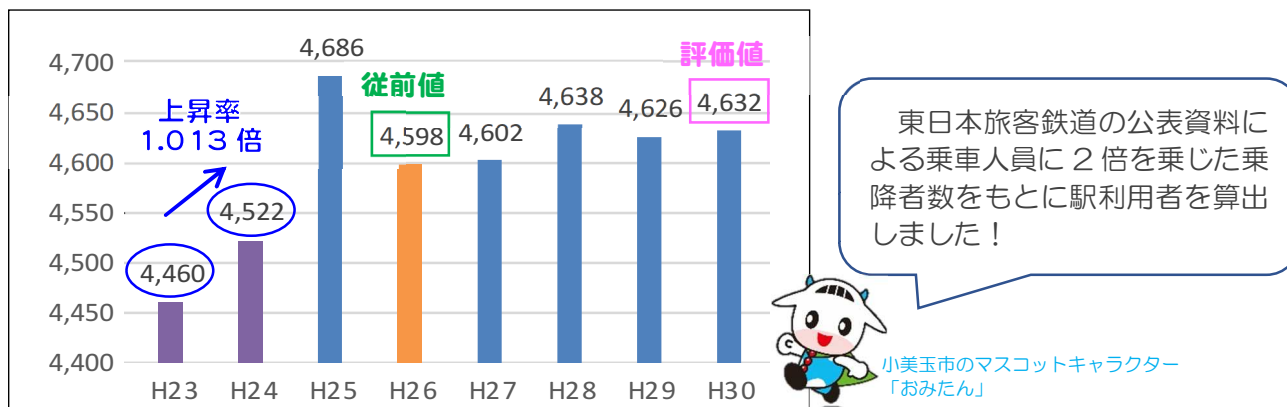
指標 2 は、駅利用者の評価値が 4,632 人と、目標値の 4,964 人を達成することができなかったものの、従前値の 4,598 人を上回ることができました。

このことから、本地区の事業については、一定の効果が得られたものと評価しました。

【指標】

	従前値	目標値	評価値
駅利用者	4,598 人	4,964 人	4,632 人

※目標値：H23～H24 の上昇率 1.013 倍/年をもとに算出。



指標 3 : 社会移動率の増加

指標 3 は、社会移動率の評価値が -0.21% と、目標値の -0.2% は達成することができなかったものの、従前値の -0.26% を上回ることができました。

このことから、本地区の事業については、一定の効果が得られたものと評価しました。

【指標】

	従前値	目標値	評価値
社会移動率	-0.26%	-0.2%	-0.21%

※従前値：社会増減数 -136 人/年 を人口 52,279 人 で割り返して算出。

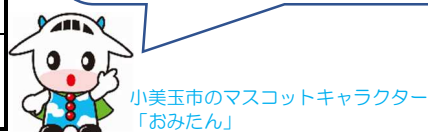
目標値：-0.01%/年回復することと算出。

【評価値の測定】

人口：住民基本台帳

	R1 年度	備考
総人口	49,050 人	各年 3 月 1 日現在
転入者	+2,162 人	4 月～次年 3 月
転出者	-2,264 人	4 月～次年 3 月
社会増減数	-102 人	年度 3 月 1 日の
社会移動率	評価値 -0.21%	人口による

社会移動率とは、小美玉市の総人口に対する社会増減数（＝転入者－転出者）の比率です。小美玉市は転出者が転入者より多いので社会増減数はマイナスになっています！



指標4：市イベント関連交流人口の増加

指標4は、市イベント関連交流人口の評価値が約82.5万人と、目標値の約103.8万人に達成することができなかったものの、従前値の約81万人を上回ることができました。

このことから、本地区の事業については、一定の効果が得られたものと評価しました。

小美玉市におけるイベント及び施設の来場者数をもとに算出しました！

小美玉市のマスコットキャラクター「おみたん」



【指標】

	従前値	目標値	評価値
市イベント関連交流人口	81万人	103.8万人	82.5万人

※目標値：3.8万人/年増をもとに算出。



平成30年10月に第1回全国ヨーグルトサミット2018が開催され、食のほかに健康や美容体験など、子どもから大人まで楽しめる様々なイベントに、家族連れなどが大勢詰め掛け、2日間で約3.9万人の来場者が訪れました。



YOGURT SUMMIT
第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉

指標5：住みやすさ指数の増加

指標5は、住みやすさ指数の目標値約53%に対し、評価値の結果は約58%となり、目標を達成しました。これは従前値の約49%から約9%上昇したこととなります。

このことから、本地区の事業については、一定の効果が得られたものと評価しました。

【指標】

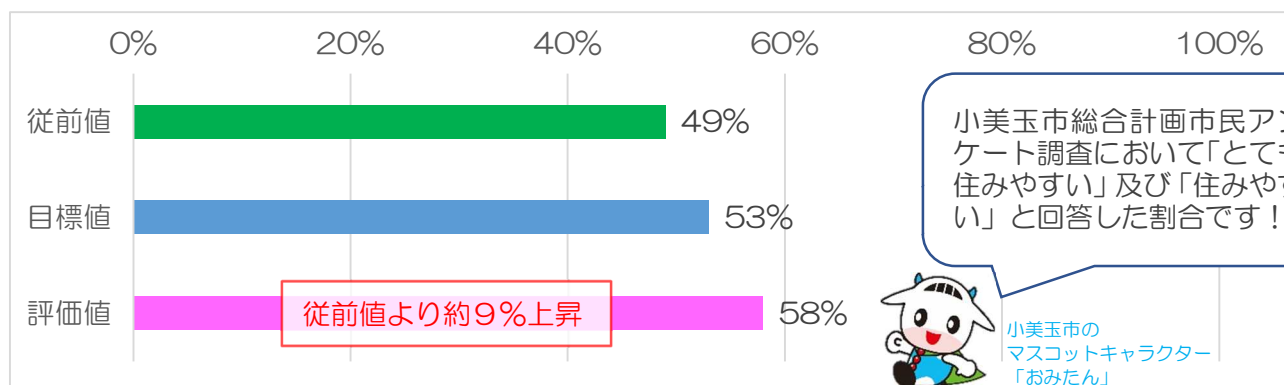
	従前値	目標値	評価値
住みやすさ指数	49%	53%	58%

※従前値：H23年度のアンケート調査結果をもとに算出。

目標値：H18年度～平成28年度のアンケート調査結果の上昇率をもとに算出。

評価値：H23年度～平成28年度のアンケート調査結果の上昇率をもとに算出。

アンケート調査の設問：「小美玉市を住みやすいと感じていますか。」



小美玉市総合計画市民アンケート調査において「とても住みやすい」及び「住みやすい」と回答した割合です！



小美玉市のマスコットキャラクター「おみたん」

まちの課題の変化・今後のまちづくりの方策

指標によって確認された成果によって、計画策定時点の課題がどのように変化（改善）したかを評価、分析します。さらに、来年度以降の取り組みとして、残された課題等について、今後どのように対処するかを検討します。

まちの課題	達成されたこと	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
羽鳥駅周辺市街地における玄関口にふさわしい拠点的な地区の整備が必要となっている。	小美玉市の陸の玄関口である羽鳥駅において、自由通路や駅前広場等の一体的整備が図られたことにより、地域住民の「住みやすさ」に対する指数が向上した。	羽鳥駅東口市有地については、土地の利活用が検討されているものの、現時点で立地誘導・整備が図られていないことから、拠点としてのまちづくりに寄与する有効活用が必要である。	羽鳥駅の東西自由通路等により、駅を中心とする東西市街地の回遊性が図られたが、今後は東西が一体となった羽鳥駅周辺地区全体を拠点とした整備が必要である。
市内の主要な拠点を結ぶ適切な連携軸の整備が必要となっている。	羽鳥駅においては、東西駅前広場の整備により利便性の向上が図られたことに加え、連絡軸となる自由通路が整備されたことで東西市街地への移動が容易となった。		
小美玉市の今後を担う子どもたちが安心・安全に育っていける施策が求められている。	羽鳥駅の自由通路・駅前広場等の一体的整備により、バリアフリー化が図られたことに加え、防犯カメラが設置されるなど、あらゆる世代の人々が安心・安全に住み続けることができる環境の整備が図られた。		
まちに活気や賑わいが求められている。	-	「駅利用者の増加」「社会移動率の増加」「市イベント関連交流人口の増加」の指標について、達成することができなかった。	移住定住の促進や交流人口の拡大を図ることで、まちの更なる活気・賑わいの創出が必要である。

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
羽鳥駅の一体的整備を契機としたまちづくり	行政による計画的なまちづくりを行うのみならず、事業者・住民等の更なる連携・協働の下、地域住民が参加するまちづくり組織を主体とするまちづくり活動を推進することが求められる。	地域住民が参加するまちづくりの推進	羽鳥駅の一体的整備を契機とした市有地の有効活用	羽鳥駅東口市有地については、民間活力の導入など、便利で賑わいのある交流空間を形成できるよう利活用を図ることを目指す。	・羽鳥駅東口市有地利活用事業
			羽鳥駅周辺地区全体における拠点化	羽鳥駅周辺地区全体の拠点化を図り、魅力ある東西一体となった市街地の形成を目指す。	・羽鳥駅周辺整備事業（道路等事業）
			まちの更なる活気・賑わいの創出	市の魅力やイベントのPR、情報発信を実施することで、移住定住の促進を図るとともに、交流人口の拡大、更には駅利用者の増加へとつなげることを目指す。	・UJターン促進事業 ・情報戦略事業

上記は、現段階における一例です。皆様からのご意見や評価委員会議における審議等により、今後のまちづくり方策について検討します。

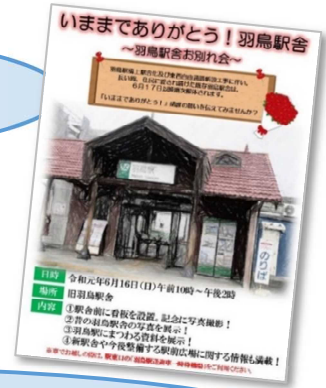
住民参加による取り組み

羽鳥駅橋上駅舎化及び東西自由通路新設に伴い、長い間住民に愛され続けた旧羽鳥駅舎のお別れ会を開催しました。

ご協力
ありがとうございました！



小美玉市のマスコットキャラクター「おみたん」



住民参加によるワークショップを開催し、羽鳥駅東西自由通路の北側壁面に、モザイクタイルアートを制作しました。



住民協働で造り上げたモザイクアート等が高く評価され、新しい交流拠点のシンボルとなった羽鳥駅が「いばらきデザインセレクション*2020」に選定されました。

※いばらきデザインセレクション…茨城県の地域や産業を元気にする優れたデザインの選定を通じて、地域イメージを高め、産業振興につなげていく取り組み。



事後評価手続きのスケジュール

令和3年2月1日（月）から 令和3年2月22日（月）まで

市民の皆様公表し、意見を募集

令和2年3月中旬予定

皆様からの意見を付し、社会資本整備総合交付金評価委員会を開催

令和2年3月下旬予定

評価委員会の審議を経て、評価結果を確定し公表

都市再生整備計画『小美玉西部地区』に関するお問い合わせ先

小美玉市 都市建設部 特定プロジェクト整備課
〒319-0192 小美玉市堅倉 835 番地
電話：0299-48-1111 FAX：0299-48-1115